



令和6年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年11月14日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
コード番号 3096 URL <https://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員社長室長 (氏名) 山田 秀樹

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 令和5年11月14日

配当支払開始予定日

令和5年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第2四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第2四半期	41,727	8.9	1,017	56.5	1,058	53.7	774	92.6
5年3月期第2四半期	38,318	8.5	650	3.0	688	3.9	402	4.4

(注)包括利益 6年3月期第2四半期 760百万円 (102.3%) 5年3月期第2四半期 375百万円 (23.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第2四半期	82.30	
5年3月期第2四半期	42.72	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年3月期第2四半期	22,910	9,768	42.6	1,037.64
5年3月期	22,016	9,073	41.2	963.84

(参考)自己資本 6年3月期第2四半期 9,768百万円 5年3月期 9,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
5年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期		7.00		7.00	14.00
6年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,600	6.3	1,426	26.3	1,513	22.2	1,092	204.9	116.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期2Q	10,833,000 株	5年3月期	10,833,000 株
期末自己株式数	6年3月期2Q	1,419,327 株	5年3月期	1,419,227 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期2Q	9,413,707 株	5年3月期2Q	9,413,773 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ移行されたことにより、経済活動及び社会活動は正常化に向かいました。一方、地政学リスクの長期化と、それに伴う原材料やエネルギー価格の高騰、為替相場の変動に伴う物価上昇圧力の強まりを受け実質賃金の減少が継続するなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましても、価格改定の動きが相次ぎ消費者の購買行動における低価格志向は依然根強く、また、業種・業態の垣根を超えた競争が激化する中、原材料の調達価格や物流費、光熱費や人件費といった各種コストの増加など厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、創業60周年を迎える当社は、基本理念としての食の「安全・安心」に取り組むとともに、中期経営計画で掲げた『IDEA & INNOVATIONで、新たな価値をつくる』を推進しており、お客様に提供する商品やサービスの質の向上と、自社ECアプリの使いやすさの追求とコンテンツの拡充による会員数の増加を図ることなどにより企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は417億27百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は10億17百万円（前年同期比56.5%増）、経常利益は10億58百万円（前年同期比53.7%増）となりました。また、株式会社ヨシケイ両毛を子会社化したことに伴い特別利益（負ののれん発生益）を1億4百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億74百万円（前年同期比92.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、競合店対策として週末のインスタプロモーションを強化し、販売促進活動に注力したことなどにより来客数は堅調に推移しました。また、夏季の猛暑と一部豪雨の影響で青果部門においては相場高と入荷不足に見舞われましたが、果物や飲料などの販売が好調となり、人流の回復に伴い、地域のお祭りの再開や帰省時期における寿司や惣菜、酒類といった売上も大きく伸びました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は130億35百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益は4億21百万円（前年同期比75.2%増）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、業務スーパーのストアブランド商品が多くのメディアで取り上げられたことに加え、制限が撤廃されたことにより大規模イベントなどが再開されたことで業者向けの需要も大きく回復しました。また、当社グループ独自の販売企画として季節や時期にあわせた売場づくりに取り組んだほか、フランチャイザーによる商品プレゼンテーションを受けることで社員の商品知識の向上を図り、強化商品の設定や陳列方法の見直しなどを行うことにより来店客数も増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は216億29百万円（前年同期比12.2%増）、セグメント利益は7億77百万円（前年同期比42.0%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、価格改定の効果で増収となり粗利益も改善しましたが、品質や味・見栄えの向上を図るためメニューの改変に努め、お客様に満足いただけるお弁当作りへの取り組みを続けているものの、喫食者ニーズの多様化により販売食数は軟調に推移しました。

惣菜等の受託製造を行っている千葉工場につきましては、受託製造商品の改廃により前年に比べアイテム数が減少したことで販売数はわずかに減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は45億59百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益は2億10百万円（前年同期比77.9%増）となりました。

(食材宅配事業)

福祉施設などへの食材販売を行う「ヨシケイキッチン」につきましては、利便性が評価され受託件数は順調に増加しました。また、サブ・フランチャイズであった㈱ヨシケイ両毛を子会社化したこともあり、売上高は増加しました。しかしながら、主力である一般家庭向け食材セット「すまいるごはん」につきましては、フランチャイザーがテレビCMを全国でオンエアし知名度の向上を図るものの、販売セット数は伸び悩み、ギフトやお取り寄せなどの季節商品の販売も前年に比べ減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は22億85百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント損失は26百万円（前年同期はセグメント利益69百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館、その他事業につきましては、経済活動の正常化による人流の回復に伴い、特に旅行代理店からの送客による昼食利用は回復基調となりました。また、運営面においては経済回復の歩調にあわせて販売促進活動を再開しましたが、コロナ禍以前までの回復には至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント売上高は2億17百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント損失は31百万円（前年同期はセグメント損失15百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億93百万円増加し、229億10百万円となりました。これは主に、売上高の増加に伴い現金及び預金が3億79百万円及び売掛金が2億24百万円増加し、流動資産の「その他」に含まれる前払費用が1億27百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円増加し、131億42百万円となりました。これは主に、長期借入金が3億68百万円減少したものの、未払法人税等が2億21百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等が1億78百万円、買掛金が1億45百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億94百万円増加し、97億68百万円となりました。これは主に、利益剰余金が7億8百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇し、42.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2億19百万円増加し、35億96百万円となりました。主な要因につきましては、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果取得した資金は14億84百万円（前年同期は4億17百万円の取得）となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益11億49百万円及び減価償却費4億63百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加額1億83百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は5億72百万円（前年同期は9億57百万円の支出）となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出4億58百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出94百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は6億92百万円（前年同期は4億16百万円の支出）となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による支出4億63百万円、リース債務の返済による支出1億45百万円及び配当金の支払額65百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和5年8月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,506,056	3,885,442
売掛金	2,539,343	2,763,993
商品	2,255,214	2,237,559
原材料及び貯蔵品	195,338	179,826
その他	505,472	627,493
貸倒引当金	△1,733	△1,872
流動資産合計	8,999,692	9,692,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,602,854	5,667,424
土地	3,123,210	3,172,533
その他(純額)	1,282,374	1,373,893
有形固定資産合計	10,008,440	10,213,851
無形固定資産		
のれん	16,698	14,468
その他	246,937	237,386
無形固定資産合計	263,635	251,854
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	29,739	28,134
その他	2,717,068	2,726,283
貸倒引当金	△1,945	△1,946
投資その他の資産合計	2,744,862	2,752,470
固定資産合計	13,016,938	13,218,177
資産合計	22,016,630	22,910,620
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,296,016	4,441,596
短期借入金	945,702	832,808
未払法人税等	204,754	426,638
賞与引当金	238,129	249,761
資産除去債務	6,258	9,796
その他	1,946,212	2,298,116
流動負債合計	7,637,074	8,258,717
固定負債		
長期借入金	3,274,200	2,905,296
リース債務	593,626	512,614
退職給付に係る負債	1,393	19,880
役員退職慰労引当金	165,900	177,390
資産除去債務	917,466	925,042
その他	353,557	343,675
固定負債合計	5,306,143	4,883,898
負債合計	12,943,218	13,142,616

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	8,687,742	9,396,562
自己株式	△1,169,721	△1,169,816
株主資本合計	8,686,513	9,395,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	405,024	385,105
退職給付に係る調整累計額	△18,125	△12,338
その他の包括利益累計額合計	386,899	372,766
純資産合計	9,073,412	9,768,004
負債純資産合計	22,016,630	22,910,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
売上高	38,318,191	41,727,358
売上原価	29,685,998	32,339,308
売上総利益	8,632,192	9,388,049
販売費及び一般管理費	7,982,046	8,370,428
営業利益	650,146	1,017,620
営業外収益		
受取利息	13	14
受取配当金	30	30
受取家賃	18,726	20,734
その他	43,053	52,739
営業外収益合計	61,823	73,519
営業外費用		
支払利息	11,038	12,100
障害者雇用納付金	9,350	10,475
その他	3,235	10,320
営業外費用合計	23,624	32,896
経常利益	688,345	1,058,243
特別利益		
受取保険金	13,140	—
負ののれん発生益	—	104,857
特別利益合計	13,140	104,857
特別損失		
固定資産除却損	38,478	7,945
賃貸借契約解約損	1,499	3,593
その他	1,817	2,240
特別損失合計	41,795	13,778
税金等調整前四半期純利益	659,689	1,149,322
法人税、住民税及び事業税	242,220	392,348
法人税等調整額	15,304	△17,743
法人税等合計	257,525	374,605
四半期純利益	402,164	774,716
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	402,164	774,716

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
四半期純利益	402,164	774,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,158	△19,919
退職給付に係る調整額	4,932	5,786
その他の包括利益合計	△26,226	△14,132
四半期包括利益	375,937	760,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375,937	760,584
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	659,689	1,149,322
減価償却費	451,839	463,118
負ののれん発生益	—	△104,857
のれん償却額	34,280	2,230
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△28,420	11,490
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△308	140
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,555	9,194
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△300	△300
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	1,572	1,604
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	399	△6,960
受取利息及び受取配当金	△44	△45
受取保険金	△13,140	—
支払利息	11,038	12,100
売上債権の増減額 (△は増加)	48,296	△183,627
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△257,520	34,317
未収入金の増減額 (△は増加)	614	△7,941
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△59,787	△109,730
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,865	121,750
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△110,609	176,080
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,647	94,089
預り保証金の増減額 (△は減少)	△7,876	△8,335
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△84,114	△17,872
その他	35,401	38,064
小計	705,784	1,673,834
利息及び配当金の受取額	45	45
保険金の受取額	13,140	—
利息の支払額	△10,750	△11,843
法人税等の支払額	△291,134	△177,813
法人税等の還付額	537	468
営業活動によるキャッシュ・フロー	417,622	1,484,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
投資有価証券の売却による収入	—	200
有形固定資産の取得による支出	△761,749	△458,993
無形固定資産の取得による支出	△23,603	△7,719
資産除去債務の履行による支出	△5,374	—
保険積立金の積立による支出	—	△281
保険積立金の払戻による収入	—	4,952
敷金及び保証金の差入による支出	△168,915	△20,065
敷金及び保証金の回収による収入	2,056	4,260
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△94,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△957,588	△572,337

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	409,316	△17,894
リース債務の返済による支出	△136,075	△145,405
長期借入金の返済による支出	△623,864	△463,904
自己株式の取得による支出	—	△95
配当金の支払額	△65,735	△65,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	△416,358	△692,968
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△956,324	219,384
現金及び現金同等物の期首残高	3,493,321	3,377,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,536,997	3,596,554

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	12,189,861	19,273,758	4,373,048	2,256,544	224,978	38,318,191	—	38,318,191
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	683	3,085	199,170	107	714	203,761	△203,761	—
計	12,190,544	19,276,843	4,572,218	2,256,652	225,693	38,521,952	△203,761	38,318,191
セグメント利益 又は損失(△)	240,597	547,638	118,233	69,246	△15,443	960,272	△310,126	650,146

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△310,126千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△310,065千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	13,035,635	21,629,637	4,559,340	2,285,640	217,105	41,727,358	—	41,727,358
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	724	674	265,910	113	1,554	268,977	△268,977	—
計	13,036,359	21,630,312	4,825,250	2,285,753	218,659	41,996,335	△268,977	41,727,358
セグメント利益 又は損失 (△)	421,501	777,460	210,350	△26,698	△31,496	1,351,117	△333,496	1,017,620

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△333,496千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△333,633千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

「食材宅配事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に株式会社ヨシケイ両毛の株式を取得し連結子会社としました。これに伴い、負ののれん発生益104,857千円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。